

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

楽しい夏休みを過ごそう

1 花火のルールを守る

夏はキャンプ場や公園で夕涼みをするときなど、花火で遊ぶ機会が多くなります。夏の風物詩である花火といってもその原料は火薬です。間違った遊び方をすると、火災になったり、やけどをしてしまったりして、とても危険です。次のことに注意して楽しく花火で遊びましょう。



●花火で遊ぶときは

- ・ 遊び方をよく読んで必ず守る。
- ・ 水を用意する。
- ・ 子どもだけで絶対に遊ばない。
- ・ 花火を人や家に向けたり、燃えやすいものがある場所で遊んだりしない。
- ・ 一度にたくさんの花火に火を付けない。
- ・ 遊び終わったら、必ず後片付けをする。

●やけどをしたときは

すぐに患部を流水で冷却してください。患部に服がくっついていているときは、無理に脱がせないでそのまま流水で冷やします。その後で、医師の診断を受けてください。

2 水の事故から身を守る

夏になると、海、川やプールなど水に親しむ機会が多くなります。同時に、1年の中で最も水の事故が多くなる季節でもあります。

水による事故は、一瞬の気の緩みや不注意から起ります。水のあるところには、事故の危険性があることを忘れずに、次のことに注意して楽しく遊びましょう。

●海、川やプールなどで遊ぶときは

- ・ 天気が良くても河川が増水しているときは入らない。
- ・ 釣りをするときは、ライフジャケットを着用する。
- ・ 保護者は、子どもから目を離さない。
- ・ 飲酒しているとき、体調の悪いときは、海、川やプールなどに入らない。



3 旅行先での心構え

旅行先で火災や地震などが起こったらどうしますか。普段とは違う慣れない場所でも慌てないよう、安否の確認方法を事前に家族で話し合うとともに、次のことを心掛けましょう。



●宿泊所に着いたら

- ・ 必ず非常口と避難経路の確認をし、実際に非常口まで歩いてみる。
- ・ 宿泊先や外出先では携帯電話が使用できるか事前に確認する。
- ・ 貴重品は、いざというときに持ち出せるようにまとめておく。
- ・ 寝る前にはたばこの火の消し忘れに注意し、寝たばこは絶対にしない。